



New!! Air Force III Analog Turntable

リファレンスモデル Air Force One の要素を切り出した、 システムUP コンセプトのAir Force III !!

リファレンスモデル Air Force One とほぼ同等の性能を確保しながら、幅広い多くのニーズにお応えする為に、機能の各要素を切り出して、コストからハイエンドまで対応が可能な、システムUPを可能とする構成で今回開発いたしましたのが Air Force III です。

プラッターのベースとなるメインフレームには、必要最小限の大きさと、Air Force Oneと同様なアルミ無垢のブロックから切削加工により切り出したフレームを採用いたしました。

これによりトーンアームも、ショート（9”）からロング（12”）まで、最大4本まで搭載が可能となりました。

プラッターは、ベーシックタイプの無垢の重量級アルミプラッターから、暫時開発を進めてまいります超重量級タイプのプラッターまで、選択もしくは後からシステムUPが可能です。

インシュレーターは、内蔵をしておりますが、ピンポイント支持のデバイスにより脚部が構成されておりますので、通常の設定環境では十分のハウリングマージンを有しております。

さらにハウリングマージンが必要な設置環境の場合には、Air Force One で開発されたエアーによるインシュレーションベースが用意されます。

もちろん、Air Force One の中核である、エアーコントロール技術『エアーベアリングによる30 μ のプラッター浮上』、『バキュームエアーによるディスク吸着機能』を備えております。

Air Force III の主な特徴

- 徹底した不要振動の除去により、バックグラウンドノイズの無い静粛なディスク再生音を実現
- Air Force One を引き継ぐ、30 μ プラッターを浮上させるエア-ベアリング機構 及びバキュームエアーによるディスク吸着機構 及び 逆噴射によるディスク吸着解除機構
- ピンポイントデバイスによる、高さ調整機構付 低重心4点支持脚
- 無垢のアルミ材から精密切削加工された、小型で有りながら18Kgの重量級メインフレーム
- 同様に、無垢のアルミ材から精密切削加工された、9Kgの重量級プラッター
- 小型フレームにより、9” ショートタイプから12” ロングタイプのトーンアームが4本搭載可能
- システムUPコンセプトにより設計されているため、暫時発売される、各種アクセサリや超重量級プラッター、インシュレーションベースによりグレードUPが可能
- Air Force One を引き継ぐ、低エア-リップルで、低振動、静音設計のエア-ポンプ
- Air Force One を引き継ぐ、携帯電話にも搭載されている超精密発信回路による回転制御の低回転モーターにより、経時変化や温度変化が無く、正確な33 1/3、45回転の回転精度
- 絶対音感のお持ちの方々にも対応可能な、ピッチ調整機能

Air Force III の外形寸法と重量

- ◆ 本体寸法 312mm (W) x 360mm (D) x 160mm (H) トーンアームベース除く
本体重量 フレーム 18Kg + プラッター 9Kg (無垢アルミタイプ)
- ◆ モーター寸法 188mm (W) x 155mm (D) x 140mm (H)
モーター重量 4.6Kg
- ◆ エア-ポンプ・電源ユニット 350mm (W) x 270mm (D) x 160mm (H)
エア-ポンプ・電源ユニット 7.8Kg